

第4章

社会・国民に支持される科学技術

1 科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組

(1) 研究者・技術者倫理観の確立

昨今、我が国では、研究活動において、データの捏造、改ざん、盗用等の不正行為が相次いで指摘されるようになってきているところである。このような科学研究における不正行為は、真理の探求を積み重ね、新たな知を創造していく営みである科学の本質に反するものであると同時に、人々の科学への信頼を揺るがし、科学の発展を妨げるものであることから、絶対にあってはならないものである。

平成18年2月に総合科学技術会議が決定した「研究上の不正に関する適切な対応について」を受けて、平成18年11月には「競争的資金の適正な執行に関する指針（競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ）」を改正し、捏造、盗用などの研究上の不正行為が明らかになった場合の措置について定めた。その後、関係府省においてガイドラインの整備、公募要領への反映等が進められた。

文部科学省では、科学技術・学術審議会の下に「研究活動の不正行為に関する特別委員会」を設置し、平成18年8月に、文部科学省、資金配分機関及び大学等研究機関が構築すべきシステムやルールに関するガイドラインを取りまとめた。これを受け、関係機関に対し、告発等の受付窓口の設置、調査体制の整備、これらに係る関係規程の整備等不正行為への対応に関する取組を要請するとともに、文部科学省自らも同年11月に告発受付窓口を設置した。

農林水産省においても、同年12月、研究活動の不正行為への対応についてのガイドラインを取りまとめ、関係機関に不正行為への対応に関する取組を要請するとともに、告発受付窓口の設置を行った。

日本学術会議では、平成18年10月に、科学者が遵守すべき倫理規範を定めた声明「科学者の行動規範について」を策定し、平成20年4月には、日本学術会議の総意に基づく対外的誓約として、声明「日本学術会議憲章」を策定した。

(2) ライフサイエンスにおける生命倫理・安全に対する取組

近年のライフサイエンスの急速な発展に伴って生じ得る生命倫理上の問題に適切に対処するため、総合科学技術会議においては重要事項についての調査・検討等を行っており、文部科学省、厚生労働省等では必要な法令・指針の整備及び運用を行っている（第2部第2章第2節1参照）。

(3) ナノテクノロジーの社会的影響に対する取組

ナノテクノロジーが社会に受け入れられ、発展するためには、その技術が社会に与える影響やナノ物質が人体・環境に与える影響等を正しく評価する必要がある。このため、科学技術振興調整費「ナノテクノロジーの社会受容促進に関する調査研究」等の成果を受け、物質・材料研究機構において「ナノマテリアルの社会受容のための基盤技術の開発」を実施している（第2部第2章第2節4参照）。

2 科学技術に関する説明責任と情報発信の強化

我が国の国民の多くは科学技術が社会に貢献していると感じており、地球環境問題や生活面での安全性や安心感、心の豊かさなどの面において科学技術に大きな期待が寄せられている一方で、科学技術の急速な進歩に対して不安を感じている人も少なくない。今後、ますます発展する科学技術が円滑に社会に受け入れられていくためには、科学技術の成果を国民に還元するとともに、それを分かりやすく説明するなど、国民が科学技術を評価し判断できるよう説明責任と情報発信を強化し、国民との対話を進めていくことによって、国民の理解と支持を得ることが重要である。

文部科学省では、平成17年度より、科学技術振興調整費の「重要課題解決型研究等の推進」プログラムにおいて、直接経費の3%程度をアウトリーチ活動¹に充当すること、さらに、アウトリーチ活動について中間評価、事後評価の対象とすることを公募要領において規定している。

また、子どもたちの科学技術に対する興味・関心を高めていくため、科学技術振興機構において、マンガで分かりやすく解説した「子ども科学技術白書」を作成している。平成20年度は、「指令！地球温暖化を調査せよ」というタイトルで、地球温暖化に関する科学的内容を小学生向けに分かりやすく解説し、全国の公立小学校、図書館などに無償配布している。

農林水産省では、農林水産業に関する研究開発の状況や成果等について分かりやすく伝えるため、青少年・消費者・生産者と対象を明確にし、自ら体験するイベントに重点を置いた「アグリ科学教室事業」を実施している。また、遺伝子組換え技術の分野においては、生産者、消費者等を対象に、遺伝子組換え農作物の研究開発に対する理解の増進を目的とした情報提供や意見交換を行うコミュニケーション活動を推進している。また、試験研究独立行政法人においても、年間を通して、一般公開や講演会などを実施し、研究活動の紹介や成果の展示等の普及啓発に努めている。

3 科学技術に関する国民意識の醸成

国民が科学技術を身近に感じ、強い関心を抱くような社会をつくり上げていくためには、科学技術に親しむ多様な機会を提供するなど、国民に分かりやすく親しみやすい形で科学技術を伝え、対話を通じて説明責任と情報発信を強化する活動及び国民の科学技術に関する基礎的な知識・能力の向上に資する取組を進めることが重要である。

(1) 科学技術に関する基礎的素養（科学技術リテラシー）の向上のための取組

成人段階で求められる科学技術に関する知識や能力を明らかにすることは、国民の科学技術に対する意識の醸成、理数教育の向上に資すると考えられる。このため、平成20年3月に、文部科学省国立教育政策研究所と内閣府日本学術会議の共同プロジェクトとして、科学者・技術者などが広く参画して科学技術リテラシー像（科学技術に関する知識・技術・物の見方を分かりやすく文章化したもの）を策定し、ホームページ（<http://www.science-for-all.jp/>）上での公開やシンポジウムの開催を通じてその普及を図っている。また、これを踏まえ、平成20年9月には、日本学術会議において、報告「21世紀を豊かに生きるための『科学技術の智』」を取りまとめた。

¹ アウトリーチ活動：分かりやすく親しみやすい形で人々に科学技術を伝え、対話を深めて人々の要望や不安を酌み取って、自らの科学技術活動に反映させていく活動

(2) 科学技術と文化や芸術との融合

近年、科学技術は物質的豊かさだけでなく心の豊かさにも貢献すべきであるとの声があり、科学技術と文化や芸術とを融合した取組が行われている。このような科学技術と文化芸術の出会い、新たな芸術作品を誕生させて心の豊かさにも貢献する一方、独創的な新技術を創出するなど、科学技術の新たな知を創出する源となる可能性を秘めている。

平成20年度は、研究者とクリエイターの出会いの「場」や、新しいコミュニティを形成するため、第12回文化庁メディア芸術祭の協賛展として、技術展示「先端技術ショーケース'09」及びテーマシンポジウム「テクノロジーが支える日本のメディアアートの魅力」を開催した。この他、科学技術と文化の融合による新たな研究開発の分野において、各種課題が推進されている。

(3) 科学館活動の充実強化

(日本科学未来館の運営)

科学技術振興機構が運営する日本科学未来館では、最新の科学技術を分かりやすく紹介する展示・解説を行うとともに、講演やイベントの企画などを通じて、研究者と国民の交流を図っている。また、我が国の科学技術理解増進活動の中核拠点として、地域の科学館への巡回展示や人材の育成などを行っている。

(全国各地域の科学館活動の支援)

科学技術振興機構では、全国各地域の科学館の理解増進活動を一層充実したものとするために、科学館等が地域の身近な場で行う実験教室やイベント、学校への出前教室など、児童・生徒や地域住民が科学技術・理科を体験し、学習する機会の充実に向けた取組を支援している。

(国立科学博物館の活動)

国立科学博物館では、同館が蓄積する研究成果や標本資料などの知的・物的・人的資源を活かして、青少年から成人まで幅広い世代に自然や科学の面白さを伝え、共に考える機会を提供する展示や学習支援活動を実施している。また、国内の主導的な博物館として、モデル的・先導的なプログラムの開発に取り組んでいる。「サイエンスコミュニケータ養成実践講座」を開講するなど科学技術の理解増進活動に取り組む人材の育成を図るとともに、学校と連携した科学的体験学習プログラム、世代やライフステージに応じた科学リテラシー涵養のためのモデルプログラム等の開発を進めている。さらに、自然と科学の情報誌「m i l s i l」の発行、話題性の高い科学に関する情報をホームページで分かりやすく解説する「ホットニュース解説」など、広く国民全体に対して積極的に情報を発信し、科学リテラシーの涵養に資している。このほか、大学・研究機関の最先端の研究についてその内容や成果を分かりやすく発信する企画展「発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ」の開催、全国の科学系博物館等の標本資料情報や展示情報をインターネットで横断的に検索することができるシステム「サイエンスミュージアムネット」の構築など、全国の科学系博物館や大学・研究機関と連携した科学技術理解増進活動を推進している。

(4) 大学・研究機関の活動

大学等における科学技術に関する公開講座の実施や、科学技術に関する授業を開講等している放送大学の充実・整備を図るなど、科学技術の理解増進に資する施策を実施している。また、科学者から直接語りかけるという交流を通して科学と向き合うことの面白さ等を広く理解してもら

うために、「サイエンスカフェ」や、若い世代の科学・科学技術分野への興味・関心を高めるための体験学習活動として、「女子中高生夏の学校」等の様々なイベントを開催している。

日本学術振興会では、科学研究費補助金による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する事業として「ひらめき☆ときめきサイエンス」を実施している。

日本学術会議では、学術の成果を国民に還元するための活動の一環として公開講演会を開催しており、平成20年度は5回実施した。テーマはそれぞれ「地球温暖化－科学者からのメッセージ」、「医療のイノベーション－信頼に支えられた医療の実現のために－」、「地球を救う みんなの知恵－最新の科学が明らかにする地球環境の過去と未来」、「学術分野における男女共同参画促進のために」、「環境学から切り開く日本の展望」であった。また、学術の様々な分野の研究成果や動向等について、市民と語り合い、生の声を聞くことを通して、今後の議論等にもつなげていくため、「サイエンスカフェ」を実施している。

宇宙航空研究開発機構では、次世代を担う青少年に対し、宇宙をはじめとする科学技術全般への興味を高めるとともに、子どもたちの科学的な観察・思考・課題解決能力を養うため、「コズミックカレッジ」や「宇宙学校」をはじめとする様々な教育活動や教育支援活動等を行っている。

産業技術総合研究所では、常設展示施設として、サイエンス・スクエアつくば／臨海、地質標本館、JISパビリオン等を備えている。平成20年度は全国7拠点で一般公開を行い、延べ約1万1,000人の来場があった。また、我が国最大級の公的研究機関として、科学技術について広く一般社会の理解を得られるよう、サイエンスカフェ・実験教室・出前講座等のサイエンスコミュニケーション事業を積極的に実施している。

(5) 地域において科学技術に親しみ、学習する機会の充実

科学技術振興機構では、各地域の科学技術理解増進活動を推進するため、科学館や大学、地方公共団体、ボランティア等による実験教室やイベントの開催、ネットワークの構築などを支援している。

また、国立青少年教育振興機構に設置されている「子どもゆめ基金」により、民間団体が行う子どもの科学体験活動などの体験活動等に対して助成を行っている。

(6) 全国各地への科学技術情報の発信

科学技術振興機構では、科学技術に関するトピックや身近に活用されている科学技術など、青少年をはじめとする国民一般に科学技術を分かりやすく紹介する番組を制作している。制作した番組は、国立青少年教育振興機構により「サイエンスチャンネル」として、CS放送、ケーブルテレビなどを通じ全国に配信されており、番組の普及を図るため、インターネットでも提供している (<http://sc-smn.jst.go.jp>)。

また、青少年が科学技術を分かりやすく体験できる「JSTバーチャル科学館」 (<http://jvsc.jst.go.jp>) を、インターネットを通じて広く提供している。

(7) 科学技術週間

平成20年4月14日～20日に、試験研究機関、地方公共団体など関連機関の協力を得て第49回「科学技術週間」を実施した。同週間中は、全国各地の関連機関において、施設の一般公開や実験工作教室、講演会の開催などの各種行事が実施された。平成20年度は、東京・有楽町において

「科学と音楽のタベ」を行うとともに、文部科学省情報ひろばラウンジなどで研究者と一般の方とがお茶を飲みながら科学技術について気軽に話し合う「サイエンスカフェ」などを毎日開催した。

(8) 科学技術に関する表彰等

(科学技術分野の文部科学大臣表彰)

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者の功績を讃える、科学技術分野の文部科学大臣表彰を実施している。本表彰制度は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的としている。平成20年4月15日、虎ノ門パストラルにおいて表彰式を行った(第2-4-1表)。

第2-4-1表 平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者一覧

- 科学技術特別賞(特に優れた成果を上げた者) 1名
 山中 伸弥
 国立大学法人京都大学物質細胞統合システム拠点 iPS細胞研究センター長/再生医科学研究所 教授

○ 科学技術賞(開発部門)

氏名	職名	業績名
秋葉 重幸	KDDI株式会社 執行役員 兼株式会社KDDI研究所 代表取締役所長	大容量波長多重光海底ケーブルシステムの開発
飯場 正紀	独立行政法人建築研究所 構造研究グループ長	戸建て住宅に適した免震機構の地震時挙動に関する研究開発
石川 成寿	栃木県農業試験場 生物工学部 部長	環境に優しい生物農薬タラロマイセス フラバス水和剤の開発
今本 恒雄	国立大学法人千葉大学 大学院理学研究科 教授	触媒的不斉合成に有用な光学活性ホスフィン配位子の開発
上山 徹男	シャープ(株) AVシステム事業本部 A1257-1 プロジェクトチーム(A) チーフ	位相シフトDPP法による光ピックアップサーボ技術の開発
酒井 啓至	シャープ(株) 生産技術開発推進本部 精密技術開発センター ナノプロセス開発室 主任研究員	
三木 鍊三郎	シャープ(株) 生産技術開発推進本部 精密技術開発センター 精密システム開発室 主事	
牧岡 廣重	シャープ(株) 生産技術開発推進本部 生産技術開発センター 第5開発室 主事	
逢坂 哲彌	早稲田大学 理工学術院 教授	界面電気化学の確立による高密度記録用小型磁気ヘッドの開発
大屋 裕二	国立大学法人九州大学 応用力学研究所 教授	超高効率な発電性能を有する風レンズ風車の開発
尾上 誠藏	(株)NTTドコモ 無線アクセス開発部 部長	IMT-2000 (W-CDMA) システムの開発
山本 浩治	(株)NTTドコモ 研究開発推進部 部長	
村瀬 淳	(株)NTTドコモ 総合研究所 所長	
佐和橋 衛	武蔵工業大学 知識工学部 情報ネットワーク工学科 教授	ボールねじの高速・静音技術の開発
加藤 将人	NSKプレジジョン(株) 技術本部 試験研究部員	
水口 淳二	NSKプレジジョン(株) 技術本部 BS技術部 BS開発室員	
矢部 孝之	NSKプレジジョン(株) 営業本部 関西支社 販売技術グループ長	
宮口 和男	NSKプレジジョン(株) 技術本部 BS技術部長	
國重 和俊	国立大学法人香川大学工学部 教授	極低温巻取法による新熱延製造金属学の研究開発

氏名	職名	業績名	
久野 徹也	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 開発戦略部 企画グループ 主席研究員	撮像装置の高速露出制御技術の開発	
杉浦 博明	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 映像入出力 技術部 部長		
やました 山下 孝一	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 映像入出力 技術部 撮像技術グループ 主席研究員		
まとば 成浩	三菱電機(株) 情報技術総合研究所 SOC技術部 カラーイメージングチーム チームリーダー		
久原 重英	東芝メディカルシステムズ(株) MRI事業部 MRI 開発部 システム開発担当 参事	MRI装置のEPI法における基本画像化技術の開発	
坂入 実	(株)日立製作所 基礎研究所 主管研究員	リアルタイム質量分析技術によるセキュリティシステムの開発	
佐々木 君章	(財)鉄道総合技術研究所 車両構造技術研究部 主任研究員	鉄道車両用可変減衰型振動制御システムの開発	
川崎 治彦	KYB株式会社 KYB史料館 館長 兼ハイドロリックコンポーネンツ事業本部		
佐野 雄二	(株)東芝 電力システム社 電力・社会システム 技術開発センター 技監		
向井 成彦	(株)東芝 電力システム社 電力・社会システム 技術開発センター 機器・システム開発部 プラント保全技術担当 グループ長	レーザーを使用した原子炉の検査保全補修技術の開発	
おちあい 落合 誠	(株)東芝 電力システム社 電力・社会システム 技術開発センター 計測・検査技術開発部 検査技術担当 グループ長		
まきの 吉延	(株)東芝 電力システム社 電力・社会システム 技術開発センター 機器・システム開発部 レーザ応用技術開発担当 グループ長		
依田 正樹	(株)東芝 電力システム社 原子力事業部 原子力機器設計部 容器・構造設計担当 主査	新規な酵素法によるキラル化合物の工業的生産プロセスの開発	
しみず 清水 昌	国立大学法人京都大学 大学院農学研究科 教授		
かたか 片岡 道彦	国立大学法人京都大学 大学院農学研究科 准教授		
さかもと 坂本 恵司	第一ファインケミカル(株) 技術部応用開発担当 担当部長		
やそはら 八十原 良彦	(株)カネカ 研究開発本部 フロンティアバイオ・メディカル研究所 基幹研究員		
きぎき 木崎 憲之	(株)カネカ 研究開発本部 フロンティアバイオ・メディカル研究所 研究員		
まが 須賀 一彦	公立大学法人大阪府立大学 大学院工学研究科 教授		
すぎもと 杉本 徹	公立大学法人京都府立医科大学 小児科学教室 特任教授 兼済生会滋賀県病院 院長		神経芽腫の血中DNAを用いたMYCN 増幅の定量法の研究開発
ご 後藤 高弘	公立大学法人京都府立医科大学 小児科学教室 研修員 兼ごとうこどもクリニック 院長		
ほそい 細井 創	公立大学法人京都府立医科大学 小児科学教室 准教授		
たけさわ 竹澤 俊明	独立行政法人農業生物資源研究所 主任研究員	組織再生に有用なコラーゲンピトリゲルの開発	
たなか 田中 一郎	住友金属工業株式会社 総合技術研究所 薄板研究開発部 副主任研究員	高効率モータ用無方向性電磁鋼板の開発	
やしき 屋鋪 裕義	住友金属工業株式会社 総合技術研究所 薄板研究開発部 部長研究員		
なかやま 中山 大成	住友金属工業株式会社 和歌山製鉄所 薄板生産技術部 参事		
つちや 土屋 弘行	国立大学法人金沢大学 大学院医学系研究科 准教授	カフェイン併用化学療法と患肢温存縮小手術の開発	
とみた 富田 勝郎	国立大学法人金沢大学 大学院医学系研究科 教授		

氏名	職名	業績名
黄市 和勇	国立大学法人筑波大学 名誉教授・先端学際領域研究センター 特任教授	フルーエンシ情報理論に基づくマルチメディア記述形式の開発
野村 寛	JFEスチール(株) 専務執行役員 西日本製鉄所長	高純度フェライト系ステンレス鋼の高効率型製造技術の開発
畑 祐志	トヨタ自動車(株) 第3ドライブトレイン技術部 主幹	FF SUV用 新ハイブリッドトランスミッションの開発
小嶋 昌洋	トヨタ自動車(株) 第3ドライブトレイン技術部 部長	
渡邊 秀人	トヨタ自動車(株) 第3ドライブトレイン技術部 グループ長	
水谷 竜彦	トヨタ自動車(株) HVユニット開発部 グループ長	
萬代 治文	株式会社村田製作所 常務執行役員 モジュール事業本部長	高周波用セラミック多層デバイス・モジュールの開発育成
宮脇 敦史	独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター 副センター長	バイオイメージング技術のための実用的蛍光タンパク質の開発
唐澤 智司	(有)アマルガム 技術開発部 部長	
渡辺 政廣	国立大学法人山梨大学 クリーンエネルギー研究センター長・教授	燃料電池の革新的材料およびその構造制御に関する研究開発
内田 裕之	国立大学法人山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授	

○ 科学技術賞（研究部門）

氏名	職名	業績名
新井 仁之	国立大学法人東京大学 大学院数理科学研究科 教授	視覚と錯視の数学的新理論の研究
荒井 滋久	国立大学法人東京工業大学 量子ナノエレクトロニクス研究センター 教授	光通信用1.5ミクロン波長帯半導体レーザの研究
磯野 春雄	日本工業大学 工学部 情報工学科 教授	メガネなし立体テレビ方式の研究
市来 俊弘	国立大学法人九州大学 大病院 講師	アンジオテンシンII受容体の発現調節機構と機能の研究
稲澤 譲治	国立大学法人東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授	高精度ゲノムアレイの開発と疾患遺伝子の同定に関する研究
犬竹 正明	国立大学法人東北大学 電気通信研究所 客員教授	アルヴェン波動現象の物理的解明と工学的応用の研究
安藤 晃	国立大学法人東北大学 大学院工学研究科 准教授	
市村 眞	国立大学法人筑波大学 大学院数理物質科学研究科 准教授	
天岸 祥光	国立大学法人静岡大学 名誉教授	
津嶋 晴	国立大学法人横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授	
井上 光輝	国立大学法人豊橋技術科学大学 工学部電気・電子工学系 教授	磁気光学を用いた固体空間光変調器の研究
榎 敏明	国立大学法人東京工業大学 大学院理工学研究科 教授	ナノグラファイトの特異な電子・磁気構造の研究
遠藤 彌重太	国立大学法人愛媛大学 理事・無細胞生命科学工学研究センター長・教授	コムギ胚芽を利用する実用的な無細胞タンパク質合成法の研究
緒形 俊夫	独立行政法人物質・材料研究機構 材料信頼性センター長	極低温下での材料試験法の開発と材料特性解明に関する研究
沖 大幹	国立大学法人東京大学 生産技術研究所 教授	地球水循環・世界水資源統合モデルの構築の研究
柏木 孝夫	国立大学法人東京工業大学 総合研究院 教授	地球環境に配慮した次世代型空調エネルギーシステムの研究
川合 真紀	国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	固体表面に吸着した単一分子の化学反応の研究

氏名	職名	業績名
鯉沼 秀臣	国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科 客員教授	コンビナトリアル固体化学の創成とナノ材料機能探索の研究
まつもと 祐司	国立大学法人東京工業大学 応用セラミックス研究所 准教授	
いたか 健治	独立行政法人科学技術振興機構 研究員	
こう 召民	独立行政法人理化学研究所 基幹研究所 主任研究員	高性能希土類錯体重合触媒の開発の研究
こう 鋒雷	独立行政法人産業技術総合研究所 室長	光コムによる通信帯標準の周波数計測に関する研究
いなば 肇	独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員	
おおい 大宙	独立行政法人産業技術総合研究所 総括企画主幹	
みのしま 薫	独立行政法人産業技術総合研究所 室長	
まつもと 弘一	独立行政法人産業技術総合研究所 上席研究員	生物に学ぶセラミックス低温合成法の研究
こうもと 邦仁	国立大学法人名古屋大学 大学院工学研究科 教授	
こまつ 秀雄	国立大学法人茨城大学 工学部都市システム工学科 准教授	ベントナイト系遮水材の膨潤及び透水特性の実験と理論の研究
まいた 誠	国立大学法人名古屋大学 大学院工学研究科 教授	情報理論に基づく電子密度及び核密度分布の可視化方法の研究
さかもと 慶司	独立行政法人日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 研究主席 兼加熱工学研究グループリーダー	ITER用大電力高周波加熱装置の定常及び高効率化研究
かすがい 敦	独立行政法人日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 加熱工学研究グループ	
たかはし 幸司	独立行政法人日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 加熱工学研究グループ	
さだ 和己	国立大学法人九州大学 大学院工学研究院 准教授	親油性高分子電解質を用いた有機物質高吸収性ゲルの研究
すずき 惣十	独立行政法人日本原子力研究開発機構 高速実験炉部 部長	高速実験炉常陽の高度化とそれによる高速炉サイクルの研究
なかい 悟	独立行政法人日本原子力研究開発機構 高速実験炉部 次長	
まえだ 幸基	独立行政法人日本原子力研究開発機構 高速実験炉部 技術主席	
あおやま 卓史	独立行政法人日本原子力研究開発機構 高速実験炉部 高速炉技術課長	
だいもん 寛	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 教授	円偏光放射光を利用した立体原子写真法の研究
まつい 文彦	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 助教	
まつした 智裕	(財)高輝度光科学研究センター 制御・情報部門 主幹研究員	
かく 方准	(財)高輝度光科学研究センター 産業利用推進室 研究員	
たまた 祐作	国立大学法人大分大学 工学部 教授	触媒による新しいフロン分解法の実用化に関する研究
たけぞろ 秀男	国立大学法人東京工業大学 大学院理工学研究科 教授	バナナ形液晶の研究
わたなべ 順次	国立大学法人東京工業大学 大学院理工学研究科 教授	
たなか 啓治	独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター 副センター長	物を見て認識する脳内メカニズムの研究
とうじ 和幸	国立大学法人東北大学大学院 環境科学研究科 教授	ナノカプセル素材に関する研究
なかお 一和	国立大学法人京都大学 大学院医学研究科 教授	新規ホルモンの実用化とトランスレーショナル研究

氏名	職名	業績名
中川 高治	松下電工(株) 先行技術開発研究所 エコプロセス研究室 室長	FRPの亜臨界水分分解リサイクル技術の研究
下部 豊之	松下電工(株) 品質部 車載品質推進グループ 技師	
前川 哲也	松下電工(株) 新規商品創出技術開発部 電器開発部 機能ミスト応用技術開発グループ	
日高 優	松下電工(株) 先行技術開発研究所 エコプロセス研究室	
吉村 毅	(株)松下電工解析センター 材料分析事業部 課長	
難波 孝夫	国立大学法人神戸大学 大学院理学研究科 教授	高輝度赤外放射光の開発と物質科学への利用研究
木村 真一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 分子科学研究所 准教授	分散アルゴリズム設計法と秘密情報共有法に関する研究
西関 隆夫	国立大学法人東北大学 大学院情報科学研究科 教授	
長谷川 勉	国立大学法人九州大学大学院 システム情報科学研究院 教授	
久田 俊明	国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	マルチスケール・マルチフィジックス心臓シミュレータの研究
杉浦 清了	国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	
渡邊 浩志	国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科 講師	
鷺尾 巧	独立行政法人科学技術振興機構 CREST 研究員	
岡田 純一	独立行政法人科学技術振興機構 CREST 研究員	
平木 敬	国立大学法人東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授	超遠距離超高速データ通信方式の研究
稲葉 真理	国立大学法人東京大学 大学院情報理工学系研究科 准教授	
加藤 朗	国立大学法人東京大学 情報基盤センター 准教授	
前野 悦輝	国立大学法人京都大学 大学院理学研究科 教授	高機能イメージ炉の単結晶でのルテニウム酸化物超伝導の研究
西村 博	元 キヤノンマシナリー(株) 研究開発センター エキスパート	
池田 伸一	独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員	
菊川 直樹	独立行政法人物質・材料研究機構 主任研究員	
河野 智	キヤノンマシナリー(株) 技術担当	
三島 修	独立行政法人物質・材料研究機構 フェロー	水のポリアモルフィズムの実験的研究
三輪 謙治	独立行政法人産業技術総合研究所 サステナブルマテリアル研究部門 主幹研究員	電磁振動プロセスによる高機能金属材料創製技術の研究
田村 卓也	独立行政法人産業技術総合研究所 サステナブルマテリアル研究部門 研究員	
向井 剛輝	国立大学法人横浜国立大学 大学院工学研究院 機能の創生部門 固体の機能分野 准教授	光通信用量子ドットレーザの研究
菅原 充	(株)富士通研究所 ナノテクノロジー研究センター センター長代理	
中田 義昭	国立大学法人東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 特任研究員	
盛 英三	国立循環器病センター研究所 心臓生理部長	微小血管造影法の研究
谷岡 健吉	特殊法人日本放送協会 放送技術研究所 所長	
河合 敏昭	元 浜松ホトニクス(株) 電子管事業部 部門長	
竹下 聡	国立循環器病センター 心臓血管内科 医長	
壇 芳彦	(株)日立メディコ パワーエレクトロニクスセンター X線管設計部 部長	

氏名	職名	業績名
森 勇介	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 教授	高精度構造解析用革新的タンパク質結晶化と加工技術の研究
高野 和文	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 准教授	
安達 宏昭	株式会社創晶 代表取締役社長	
井上 豪	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 准教授	
松村 浩由	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 助教	
守谷 健弘	日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 コミュニケーション科学基礎研究所 特別研究室長	高能率音声音響信号符号化の研究
山中 一司	国立大学法人東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授	球の弾性表面波の多重周回現象とセンサへの応用に関する研究

○ 科学技術賞（科学技術振興部門）

氏名	職名	業績名
長町 三生	国立大学法人広島大学 名誉教授	消費者感性に根ざした感性工学技術の振興
渡邊 千俊	国立大学法人東京工業大学 大学院社会理工学研究科 教授	イノベーションの経済社会効果解析技術の振興

○ 技術部門

氏名	職名	業績名
秋良 浩一	株式会社あじかん 開発部	玉子製品および製造に関する加工技術の開発
原 浩一郎	株式会社あじかん 開発部 主事	
阿部 貞才	不二輸送機工業(株) 商品開発部 課長	低消費電力型・高速パレタイジングロボットの開発
安澤 義彦	朝日酒造株式会社 研究開発課 課長	清酒醸造における蒸米硬度と消化性に関する開発
浦 治男	株式会社ソアテック レーザー応用研究所 所長	可搬型レーザー式三次元測定機「ソアリングアイ」の開発
遠藤 隆昭	(株)技研 代表取締役会長	大型PRCボックスカルバート工法の開発
奥野 昌生	(株)島精機製作所 メカトロ開発部員	横編機を用いた編地端部の接合方法の開発
佐々岡 良介	(株)コトガワ 代表取締役	高機能屋根瓦の開発
杉山 政則	国立大学法人広島大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授	醸造副産物と植物乳酸菌を利用した新規ヨーグルトの開発
野村 和弘	野村乳業株式会社 取締役	
長倉 正次	丸仲工業株式会社 代表取締役社長	均一めっき処理を可能にした電気めっき処理システムの開発
名取 悦二	スガ試験機(株) 取締役 製造本部長	複合腐食サイクル試験装置の開発
二木 亮	株式会社サマー 代表取締役会長	廃アルミ缶利用による騒音吸収材の開発
星加 邦博	象印マホービン株式会社 第一開発室 室長	電動ポット吐出安全装置の開発
堀田 繁光	堀田カーペット株式会社 代表取締役社長	新しい表面糸を持つカーペットの開発
村田 昭市	株式会社ムラタ溶研 取締役	帯状金属薄板の突き合せ接合装置の開発
湯本 好英	グラパックジャパン株式会社 代表取締役社長	裸眼立体視印刷物用マイクロレンズアレイの製造法の開発
渡部 悠次	株式会社エムイーシー 代表取締役	超音波無圧式漏れ検査装置の開発

○ 理解増進部門

氏名	職名	業績名
青木 正博	独立行政法人産業技術総合研究所 広報部 地質標本館 館長	地質標本館活動を通じた地球科学や地下資源に関する理解増進

氏名	職名	業績名
浅原 雅浩	国立大学法人福井大学 教育地域科学部 准教授	地域から広がる小中学生からの科学の理解増進
丹松 美由紀	国立大学法人鳥取大学 工学部 技術専門職員	
厚地 大司	(財)日本発明振興協会 こども発明教室 専任講師	こども発明教室を通じての科学技術の理解増進
井上 昭彦	株式会社朝倉書店 専務取締役	多年にわたる『内科学』の出版活動による医学知識の理解増進
川村 康文	東京理科大学 理学部第一部物理学科 准教授	理科実験教室による青少年・市民の科学技術の幅広い理解増進
清本 英男	野口遵顕彰会 会長	『ジュニア科学者の翼』事業による科学技術への理解増進
小林 肇	国立大学法人筑波大学 名誉教授	青少年への創造性・理科教育についての普及啓発
澤口 聡子	東京女子医科大学 医学部法医学講座 准教授・先端生命医学研究所 准教授	乳幼児突然死症候群を中心とする小児法医学の理解増進
鈴木 謙三	マテック八尾 ロボット分科会 会長	学校と連携したものづくり実践教育による科学技術の理解増進
高橋 和雄	国立大学法人長崎大学 工学部 教授	雲仙火山災害を教訓とした火山防災と復興対策の理解増進
高柳 雄一	多摩六都科学館 館長	科学番組の制作及びアウトリーチ活動の普及啓発
竹西 素子	株式会社オーム社出版局「ロボコンマガジン」編集長	ロボコンマガジンを通じて青少年のもの作りへの理解増進
樋田 博文	オリンパス株式会社 研究開発センター 研究開発本部 光学技術部長	わくわくプロジェクトを通じた子供達の科学技術理解増進
中井 信	独立行政法人農業環境技術研究所 上席研究員	土壌モニタリングを活用した土の理解増進
浜崎 忠雄	国立大学法人鹿児島大学 農学部 教授	
大倉 利明	独立行政法人農業環境技術研究所 主任研究員	
太田 健	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 上席研究員	
小原 洋	独立行政法人農業環境技術研究所 主任研究員	
野田 公俊	国立大学法人千葉大学 大学院医学研究院 教授	小中高校生等への微生物学の最新知識の紹介とその理解増進
村山 高志	株式会社培風館 編集部 顧問	『物理学辞典』の20余年継続刊行による科学技術の理解増進
森田 真裕	近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科 4年生	体細胞クローンマウスによる生命科学研究教育の普及啓発
山口 晴幸	防衛大学校 システム工学群 建設環境工学科 教授	深刻化する海岸漂着ゴミ問題解決への普及啓発
山田 英徳	(財)日本科学技術振興財団 参与 科学技術館副館長	科学館・博物館を通じた科学技術の理解増進
渡邊 治	国立大学法人東京工業大学 大学院情報理工学研究科 教授	スーパーコン(電腦甲子園)による計算機科学への理解増進
松田 裕幸	国立大学法人東京工業大学 学術国際情報センター 助教	
菊池 誠	国立大学法人大阪大学 サイバーメディアセンター 教授	
渡部 潤一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台天文情報センター 准教授	新しい惑星定義の理解増進ならびに普及啓発
縣 秀彦	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台天文情報センター 准教授	

○ 若手科学者賞

氏名	職名	業績名
青木 隆朗	独立行政法人科学技術振興機構 専任研究員	量子光学分野における量子情報処理技術の研究

氏名	職名	業績名
秋山 修志	独立行政法人科学技術振興機構 さきがけ専任研究者 「生命現象と計測分析」	X線小角散乱を用いたシグナル感知・伝達・応答機構の研究
秋山 充良	国立大学法人東北大学 大学院工学研究科 准教授	超高性能構造部材の開発及びライフタイム評価の研究
吾郷 浩樹	国立大学法人九州大学 先端物質化学研究所 准教授	カーボンナノチューブの成長と機能化の研究
荒川 知幸	国立大学法人奈良女子大学 理学部 准教授	無限次元代数の表現論の研究
池谷 裕二	国立大学法人東京大学 大学院薬学系研究科 准教授	神経回路システムの機能と可塑性の研究
石井 久美子 (田中 久美子)	国立大学法人東京大学 大学院情報理工学系研究科 准教授	言語統計に基づく予測を利用した文書入力方法に関する研究
磯部 寛之	国立大学法人東北大学 大学院理学研究科 教授	ナノカーボン分野における機能性化学修飾分子に関する研究
板井 章浩	国立大学法人鳥取大学 農学部 准教授	ナシ果実の貯蔵性に関する分子マーカーの開発と育種の研究
井戸 哲也	独立行政法人情報通信研究機構 光・時空標準グループ 主任研究員	中性Sr原子のレーザー冷却とその無反跳高分解能分光の研究
伊藤 剛	独立行政法人農業生物資源研究所 基盤研究領域ゲノム情報研究ユニット ユニット長	大規模ゲノムアノテーションに基づくゲノム情報有用化の研究
井上 弘士	国立大学法人九州大学 大学院システム情報科学研究院 准教授	次世代コンピュータ向けキャッシュ・メモリの研究
岩井 宏暁	国立大学法人筑波大学 大学院生命環境科学研究科 講師	高等植物の細胞接着におけるペクチンの生合成と機能の研究
岩崎 秀雄	早稲田大学 理工学術院 准教授	シアノバクテリアの概日リズム機構についての研究
岩田 佳之	独立行政法人放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター物理工学部 主任研究員	高効率小型線形加速器の研究
印南 秀樹	国立大学法人総合研究大学院大学 葉山高等研究センター 准教授	ゲノム進化と理論集団遺伝学を融合する新分野創造の研究
上野 隆史	国立大学法人名古屋大学 大学院理学研究科物質理学専攻 助教	蛋白質超分子を用いたナノ材料開発に関する研究
内村 太郎	国立大学法人東京大学 大学院工学系研究科 准教授	土構造物の堅さと耐震性を飛躍的に向上する技術の研究
榎本 和生	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 新分野創造センター 准教授	細胞膜形態を規定する分子・構造基盤の研究
大路 真美 (田中 真美)	国立大学法人東北大学 大学院工学研究科 准教授	機能性材料を用いた触覚センサシステムの研究
大西 康夫	国立大学法人東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	放線菌の遺伝子発現制御機構と新規生合成酵素の研究
大山 直幸	独立行政法人日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 研究副主幹	プラズマ回転制御によるトカマクプラズマの高性能化の研究
岡田 昌史	国立大学法人東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授	情報と機構の非線形性が現象として実在化する巧な運動の研究
沖野 望	国立大学法人九州大学 大学院農学研究科 准教授	細菌由来新規スフィンゴ脂質分解酵素の発見と応用の研究
小澤 登高	国立大学法人東京大学 大学院数理科学研究科 准教授	作用素環と離散群の研究
会田 昭二郎	独立行政法人理化学研究所 知的財産戦略センター エラストマー精密重合研究チーム 副チームリーダー	希土類金属錯体触媒によるジエン類の精密重合の研究
金子 俊郎	国立大学法人東北大学 大学院工学研究科 准教授	プラズマフロー制御による構造形成機構の研究
川根 公樹	国立大学法人京都大学 大学院医学研究科 助教	分解を免れたDNAによる自己免疫疾患の研究
岸田 英夫	国立大学法人名古屋大学 大学院工学研究科 准教授	低次元強相関絶縁体における非線形光学応答の研究
木村 憲彰	国立大学法人東北大学 大学院理学研究科 助教	反転対称性の破れた超伝導物質の開発と異方性の研究

氏名	職名	業績名
櫛引 俊宏	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 特任講師	ドラッグデリバリーシステムと光技術による細胞機能制御の研究
桑野 良一	国立大学法人九州大学 大学院理学研究院 准教授	複素芳香族化合物の触媒的不斉水素化の研究
後藤 真孝	独立行政法人産業技術総合研究所 情報技術研究部門 主任研究員	計算機による音の理解とそれに基づく音インタフェースの研究
齋藤 普聖	国立大学法人北海道大学 大学院情報科学研究科 准教授	フォトニック結晶ファイバの高精度解析と最適設計の研究
坂口 仁子	独立行政法人理化学研究所 仁科加速器研究センター 本林重イオン核物理研究室 仁科センター研究員	重陽子-陽子散乱の高精度測定による原子核内三体力の研究
佐々木 雄彦	国立大学法人秋田大学 医学部 教授	細胞膜イノシトールリン脂質代謝による生体制御機構の研究
佐々 千由紀	独立行政法人水産総合研究センター 西海区水産研究所 東シナ海漁業資源部 研究員	西部北太平洋における中・深層性魚類の初期生態の研究
佐藤 守俊	国立大学法人東京大学 大学院総合文化研究科 准教授	生細胞内における分子過程の可視化計測法の研究
佐野 大輔	バルセロナ大学 生物学部 微生物学科・独立行政法人日本学術振興会海外特別研究員	活性汚泥細菌からの機能性タンパク質分離の研究
荘司 洋三	独立行政法人情報通信研究機構 第一研究部門 新世代ワイヤレス研究センター 宇宙通信ネットワークグループ 主任研究員	無線通信工学分野におけるミリ波帯高能率無線通信技術の研究
白樫 了	国立大学法人東京大学 生産技術研究所 准教授	生体の長期高品位保存の研究
瀬藤 光利	大学共同機関利用法人自然科学研究機構 生理学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター 戦略的方法論研究領域 准教授	可視化によるグルタミン酸シグナル伝達の研究
Sergey Savelliev	独立行政法人理化学研究所 基幹研究所 単量子操作研究グループ デジタル・マテリアル研究チーム 客員研究員	超伝導体中の磁束量子の制御の研究
高尾 英邦	国立大学法人豊橋技術科学大学 インテリジェントセンシングシステムリサーチセンター 准教授	半導体工学分野における知能化センシングデバイスの研究
高岡 秀夫	国立大学法人神戸大学 大学院理学研究科 准教授	非線形分散型方程式の弱解に対する大域解析の研究
田口 哲志	独立行政法人物質・材料研究機構 生体材料センター 主任研究員	生体組織界面を接合する材料技術の研究
竹内 昌治	国立大学法人東京大学 生産技術研究所 准教授	工学分野におけるバイオマイクロシステムの研究
竹村 俊彦	国立大学法人九州大学 応用力学研究所 准教授	エアロゾルの気候に対する影響の定量的評価の研究
田中 敬二	国立大学法人九州大学 大学院工学研究院 准教授	異種相界面における高分子ナノ物性の研究
田中 真樹	国立大学法人北海道大学 大学院医学研究科 准教授	視床および前頭葉による眼球運動の随意性制御の研究
田中 元雅	独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター 田中研究ユニット ユニトリリーダー	蛋白質のミスフォールディングが関わる神経変性疾患の研究
苗村 健	国立大学法人東京大学 大学院情報理工学系研究科 准教授	学際分野における実世界指向メディア技術の研究
成田 哲博	国立大学法人名古屋大学 大学院理学研究科 助教	電子顕微鏡によるアクチンフィラメント端複合体構造の研究
西野 邦彦	国立大学法人大阪大学 産業科学研究所 助教	細菌ゲノムに潜む多剤耐性因子と制御機構の研究
長谷 純宏	独立行政法人日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門 研究員	イオンビーム育種技術を用いた有用植物品種創成の研究
長谷川 真人	国立大学法人京都大学 数理解析研究所 教授	プログラミング言語の意味論の研究
林 克郎	国立大学法人東京工業大学 応用セラミックス研究所 附属セキュアマテリアル研究センター 准教授	活性陰イオンを起源とするC12A7結晶の機能性開拓の研究
深田 正紀	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 生体膜研究部門 教授	蛋白質の細胞膜への局在化機構に関する研究

氏名	職名	業績名
福嶋 孝典	独立行政法人理化学研究所 フロンティア研究システム チームリーダー	パイ電子系ナノ材料の研究
福留 秀暢	(株)富士通研究所 シリコンテクノロジー開発研究所 研究員	微細トランジスタの2次元不純物分布ナノ計測技術の研究
藤野 修	国立大学法人名古屋大学 大学院多元数理科学研究科 准教授	高次元代数多様体の双有理幾何学の研究
牧野 和久	国立大学法人東京大学 大学院情報理工学系研究科 准教授	離散列挙問題に対するアルゴリズムの研究
松浦 和則	国立大学法人九州大学 大学院工学研究院 准教授	生体分子の自己集合による新しいナノ構造体構築の研究
松浦 健二	国立大学法人岡山大学 大学院環境学研究科 助教	シロアリと卵擬態菌核菌の相互作用機構と応用技術の研究
松田 勝	国立大学法人宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター 准教授	メダカ性決定遺伝子の同定による性判別システム構築の研究
松永 幸大	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 講師	超顕微技術による染色体形態構築メカニズムの研究
村橋 哲郎	国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 准教授	サンドイッチ型金属クラスターの研究
山田 陽一	独立行政法人理化学研究所 フロンティア研究システム 副チームリーダー	自己組織化金属高分子触媒創製の研究
横田 秀夫	独立行政法人理化学研究所 知的財産戦略センター VCADシステム研究プログラム 生物基盤構築チーム チームリーダー	生体及び細胞の計算機モデル構築の研究
横山 雅之	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 核融合科学研究所 大型ヘリカル研究部 准教授	磁場の三次元性を活用した無電流プラズマ高性能化の研究
吉田 清嗣	国立大学法人東京医科歯科大学 難治疾患研究所 准教授	DNA損傷における細胞内情報伝達と細胞死誘導機構の研究
米田 美佐子	国立大学法人東京大学 医科学研究所 助教	パラミクソウイルスの感染成立機序の研究



表彰式の様子
写真：文部科学省



科学技術特別賞受賞者
(左) 山中教授 (右) 渡海文部科学大臣 (当時)
写真：文部科学省

(ナイスステップな研究者)

文部科学省科学技術政策研究所では、平成17年より、毎年10名程度「ナイスステップな研究者」を選定している。平成20年は、科学技術政策研究所の調査研究活動及び科学技術政策研究所の専門家ネットワーク（約2,000人）の意見を参考に、ここ数年間に成された科学技術に関する顕著な業績の中から以下の方々を選び、平成20年12月に公表した（第2-4-2表）。

第2-4-2表 ナイスステップな研究者選定者一覧

部門	氏名	所属	選定理由
研究部門	新津洋司郎	札幌医科大学 分子標的探索講座 特任教授	肝硬変など様々な難治性疾患の治療法開発による医療への貢献
	細野秀雄	東京工業大学 フロンティア研究センター 教授	第3の超伝導物質、鉄系新高温超伝導体を発見
	三浦道子	広島大学 大学院先端物質科学研究科 教授	半導体超微細化時代に適合する技術的に卓越したトランジスタモデルの開発と国際標準化の獲得
	山口茂弘	名古屋大学 大学院理学研究科 教授	典型元素の基礎化学を通じて高性能有機エレクトロニクス材料を創出
	若山照彦	独立行政法人理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター ゲノム・リプログラミング研究チーム チームリーダー	凍結死体の体細胞からのクローン個体作出に成功
プロジェクト・国際研究交流部門	池田裕二郎	日本原子力研究開発機構J-PARCセンター 物質・生命科学ディビジョン長	先端的な加速器パルス中性子源の開発
	長谷川和男	日本原子力研究開発機構J-PARCセンター 加速器ディビジョン加速器第1セクションリーダー	
	金正倫計	日本原子力研究開発機構J-PARCセンター 加速器ディビジョン加速器第2セクションリーダー	
	嶋田雅暁	長崎大学 熱帯医学研究所 教授	ケニアを拠点として感染症対策に係る国際研究交流を推進
人材育成・男女共同参画部門	河野（平田）典子	日本大学 理工学部数学科 教授	男女共同参画、女性研究者支援、女子学生に対する教育活動に貢献
	米田仁紀	電気通信大学 レーザー新世代研究センター 教授	先進的な工学系大学院教育プログラムの開発と実施における貢献
成果普及・理解増進部門	新井紀子	国立情報学研究所 情報社会関連研究系 教授	Webを活用した情報共有サイト構築ソフトを無償公開し、新たな学校教育手法を全国的に展開。また、数学嫌いの人々等を対象に青少年・一般向けの数学入門書を多数執筆

（おんし恩賜賞、日本学士院賞、日本学士院エジンバラ公賞）

おんし恩賜賞並びに日本学士院賞は、学術上特に優れた論文、著書その他の研究業績に対して授賞を行うものである。日本学士院賞は毎年9件以内に授賞が行われ、おんし恩賜賞は日本学士院賞の中から、毎年第1部（人文科学部門）・第2部（自然科学部門）の各部1件以内に授賞が行われている。過去の受賞者のうち、湯川秀樹（昭和15年）、朝永振一郎（昭和23年）、福井謙一（昭和37年）、江崎玲於奈（昭和40年）、小林誠（昭和60年）、益川敏英（昭和60年）、小柴昌俊（平成元年）、野依良治（平成7年）、の8名は、後にノーベル賞を受賞している。また、日本学士院エジンバラ公賞は、昭和62年に、日本学士院名誉会員エジンバラ公フィリップ殿下からの申出により創設され、広く自然保護及び種の保全の基礎となる優れた学術的研究成果を上げた日本人研究者に対し、隔年で1件の授賞が行われている。平成20年度については、6月9日に日本学士院において、天皇皇后両陛下御臨席の下、授賞式が執り行われた（第2-4-3表）。

第2-4-3表 恩賜賞、日本学士院賞、日本学士院エンジンバラ公賞受賞者一覧

<受賞者一覧>

賞名	受賞者氏名	現職機関 職名	授賞の対象となった研究業績
おんし 恩賜賞・日本学 士院賞	モリノマ ケンジ 諸熊 奎治	京都大学福井謙一記念研究センター・リ サーチリーダー、米国・エモリー大学名 誉教授、分子科学研究所名誉教授、総合 研究大学院大学名誉教授	分子の構造・機能・反応設計に関する理 論的研究
日本学士院賞	ホサカ タカキ 保坂 高殿	千葉大学文学部教授	ローマ帝政初期のユダヤ・キリスト教迫 害
	オオタケ フミオ 大竹 文雄	大阪大学社会経済研究所長・教授	日本の不平等
	フジヨシ ヨシノリ 藤吉 好則	京都大学大学院理学研究科教授	極低温電子顕微鏡の開発による膜タンパ ク質の構造決定
	ナカイ ナオマサ 中井 直正	筑波大学大学院数理物質科学研究科教授	水メーザー源のVLBI観測による活動銀 河中心核と巨大質量ブラックホールの研 究
	ハセガワ アキラ 長谷川 晃	ソリトン通信代表、中国・天津大学客座 教授、中国・浙江大学客座教授	ファイバー中の光ソリトンの発見とプラ ズマ乱流の自己組織化に関する研究
	オオヤマ カンジ 大山 莞爾	石川県立大学生物資源工学研究所教授、 京都大学名誉教授	植物核外ゲノム及び性染色体の遺伝子構 成と分子進化に関する研究—ゼニゴケゲ ノムを中心として—
	カンガワ ケンジ 寒川 賢治	国立循環器病センター研究所長	新しい生理活性ペプチドの発見とその基 盤的研究—グレリンを中心として—
ナガイ ヨシユキ 永井 美之	独立行政法人理化学研究所感染症研究 ネットワーク支援センター長、名古屋大 学名誉教授	パラミクソウイルス病原性の分子基盤の 解明と新規発現ベクターの創出	
日本学士院エジ ンバラ公賞	ワダ エイタロウ 和田 英太郎	独立行政法人海洋研究開発機構地球環境 フロンティア研究センター生態系変動予 測プログラムディレクター、京都大学名 誉教授、総合地球環境学研究所名誉教授	流域単位の生態系の多様な構造の解明と 環境変動への応答に関する研究—とくに 安定同位体フィンガープリント法を駆使 したその総合—

※所属機関・職名は授賞時



(後列左より) 永井美之受賞者、大山莞爾受賞者、中井直正受賞者、長谷川晃受賞者、寒川賢治受賞者、和田英太郎受賞者

(前列左より) 大竹文雄受賞者、諸熊奎治受賞者、中根千枝日本学士院第1部部长、久保正彰日本学士院長、杉村隆日本学士院幹事、古在由秀日本学士院第2部部长、保坂高殿受賞者、藤吉好則受賞者

写真提供：日本学士院

(日本学術振興会賞)

日本学術振興会は、人文科学から自然科学までのあらゆる分野を対象に、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から検証し、その研究を奨励することにより、若手研究者の研究意欲を高め、更なる活躍を促すものとして、平成16年度に日本学術振興会賞を創設した。平成20年度については、3月9日に日本学士院において秋篠宮同妃両殿下の御臨席の下、授賞式が執り行われた(第2-4-4表)。

第2-4-4表 日本学術振興会賞受賞者一覧

<受賞者一覧>

系別	受賞者氏名	現職機関 職名	授賞の対象となった研究業績
人社系	アリタ シン 有田 伸	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授	教育と社会階層の日韓比較社会研究
	カイ アサユキ 中井 亜佐子	一橋大学 大学院言語社会研究科 准教授	英語圏文学とポストコロニアル批評
	フルサタ ケイジ 古澤 泰治	一橋大学 大学院経済学研究科 教授	国際政治経済学へのゲーム理論的アプローチ
	ミヤ ヒロユキ 宮 紀子	京都大学 人文科学研究所 助教	モンゴル時代の文化政策と出版活動
理工系	イトウ ヨウヘイ 伊藤 公平	慶應義塾大学 理工学部 教授	半導体同位体工学の創出
	イノウエ ケンオウ 井上 邦雄	東北大学 大学院理学研究科 教授	原子炉を用いたニュートリノ振動の精密測定
	イノウエ マサキ 井上 将行	東京大学 大学院薬学系研究科 教授	海洋環状ポリエーテル類の全合成研究
	ウエダ マサヒト 上田 正仁	東京大学 大学院理学系研究科 教授	冷却原子気体の理論
	オエ ヨシシ 小江 誠司	九州大学 未来化学創造センター 教授	水溶性金属アクア錯体を用いた水中・常温・常圧での水素分子の活性化
	ノバシ 直樹 小林 直樹	東北大学 大学院情報科学研究科 教授	ソフトウェア検証のための型理論
	ソベキ ケイオ 染谷 隆夫	東京大学 大学院工学系研究科 准教授	有機トランジスタの基礎と大面積エレクトロニクスへの応用に関する研究
	ツジ ケン 辻 雄	東京大学 大学院数理学研究科 准教授	D進ホッジ理論とその応用
	ツジ ヒロタカ 辻 伸泰	大阪大学 大学院工学研究科 准教授	超微細粒金属材料に関する研究
	ノトミ マサキ 納富 雅也	日本電信電話株式会社 NTT物性科学基礎研究所 主幹研究員	フォトリック結晶中の新奇な物理現象の探索とその応用
生物系	ヒロシ 敬 廣瀬 敬	東京工業大学 大学院理工学研究科 教授	超高压高温下における地球惑星内部物質の実験的研究
	カノ マサヒサ 勝野 雅央	名古屋大学 高等研究院 特任講師	神経変性疾患の病態解明および治療法開発
	コイズミ シュウイチ 小泉 修一	山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授	グリア細胞による脳機能の制御
	サワムラ タツヤ 沢村 達也	国立循環器病センター 脈管生理部 部長	循環器疾患克服に向けた血管機能異常の分子機構解明
	シラヒガ カツヒコ 白髭 克彦	東京工業大学 大学院生命理工学研究科 教授	ゲノム情報を基盤とした染色体解析技術の確立とその応用
	トリイ ケイコ 鳥居 啓子	ワシントン大学 生物学部 アソシエイトプロフェッサー	植物の気孔のパターン形成と分化のメカニズムの解明
	スギマ オサム 濡木 理	東京大学 医科学研究所 教授	遺伝暗号翻訳の動的機構の構造基盤
	ヤナギワラ ジュン 柳澤 純	筑波大学 先端学際領域研究センター 教授	細胞のエネルギー恒常性を調節する分子機構の研究
ヨシムラ タカシ 吉村 崇	名古屋大学 大学院生命農学研究科 教授	春を感知するウズラの生物時計の仕組み	
ワカヤマ テルヒコ 若山 照彦	理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター チームリーダー	バイオテクノロジーによる新たな動物繁殖技術の開発	

※所属機関・職名は授賞時